

間伐竹と伝統竹工芸・学びの～未来展～

過去～現代～未来へ 伝統文化から現代アートまで 竹による試み

『景色』

竹の空間インсталレーション 空間美術



庭師、たまに舞台美術家。
1956年兵庫県生まれ。身近な
自然を感じられ五感に伝わる庭
づくりを目指している。

近年、ワークショップによる参加
型庭づくりを開催。

野山の草木、竹を使ってコンテン
ポラリーダンス、ペリダンス、演
劇等の舞台美術、植物インスタレ
ーションを手掛けている。



庭師だいすけ

<http://niwashidaisuke.jimdo.com/>/
<https://www.facebook.com/niwashi.daisuke>

間伐竹を利用して空間を刺激し、より3
次元的な意識を高める。

《作品紹介》

『京の伝統竹工芸作品展示・販売』

花器、茶道具、水差し、建水、花筆、その他、50点



京都特産のすぐれた孟宗竹・真
竹・胡麻竹・図面角竹等の京銘竹
を中心とした材料として製造加工し、
工芸的価値の高い竹工芸品の製作
をしています。茶華道発祥の地
京都に伝わる竹加工の伝統的技
法を研究、加工技術の近代化に
取り組んでいます。今回は、様々
な竹工芸品を展示いたします。

東洋竹工株式会社

<http://www.toyo-bamboo.com/>

花は、野にあるように!! 利休の言葉を
思いつつ 活けてみました。

『アニマ曼荼羅／金剛界』

竹を使用したオブジェ、現代アート



京都在住。高野山真言宗僧侶。
日本書画協会会員。銅版画を蒲
池清爾師に、密教を土生川正道
師に師事。密教系リチュアルノイ
ズ・ユニット「混沌の首」主宰。
『台湾日本蔵書票交流文化展』
『全国蔵書票展～現代日本と海
外蔵書票展～』『京展』入選。久
保惣記念美術館、京都市美術館
などにて展示。2015年秋に『高
野山アニミズム展』へ出展予定。

羅入

<http://kondon.org/laju>

竹、石、木、植物、などの自然の素材を用い、
調和した世界である金剛界曼荼羅を作り
ました。曼荼羅の四方には結界を現す塙を配し、世界の守護を祈念しています。

『竹トロニクス』

映像・竹の音のインスタレーション、現代アート



現代美術家。
1965年、茨城県に生まれる。鉄、ガラス、文
字などを用いたインスタレーションを多数
発表。多様な引用と組み合わせ(サンプリング&ミックス)により、物質と人、自然や戦争
の問題まで、様々な角度から〈世界〉を映し
出す。ノイズ・パフォーマンス・ユニット
『Erehwon』の活動でも知られる。展示は、
森美術館、府中市美術館、イスラエル美術
館、原爆の図丸木美術館、「ねこまや猫じや
祭り」白雲館、「BIWAKOビエンナーレ」、他

Erehwon／石川雷太+星間光城

http://erehwon.jp.org/raita_ishikawa/

間伐竹を使用したサウンド・インスタレーション。映像、音、建築が一体となった未来型のアートです。叩いて音を出してお楽しみください。

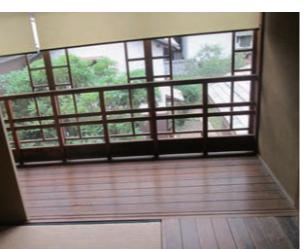
『古木と竹の坪庭』

『竹の茶室』『古木と竹の坪庭』『釣り船』



『学術のフロアー』

展示・販売



『京都竹カフェ』がプロデュースす
る展示・販売です。斬新なア
イディアに満ちた、たくさんの
竹のアイテムをご覧ください。『
京都竹カフェ』は、京都府内で
放置竹林対策に関わる民間団
体や大学の研究者、企業、行政
職員などが集まって結成した、
情報交換と連携のゆるやかな
ネットワークです。竹と人のあ
たらしい関係を、一緒に考えて
みませんか？

『花あそび』

苔玉、竹の花器によるフラワーアレンジメント



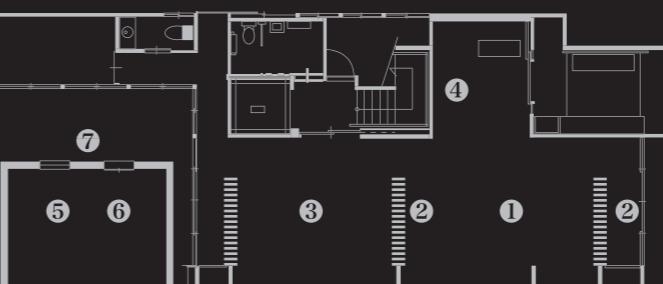
ねこの優しさを学び、人と人、人と
動物の関わりあいに取り組んでい
こうとNPO法人ねこ塾を設立致
しました。只今、ノラ猫をめぐる環
境保全と高齢者の為の地域コ
ミュニティ作りに取り組んでおりま
す。ねこまやの名前で近江八幡白
雲館に於いて年に数回猫に関する
作品の展示販売イベント
『ねこまや猫じや祭り』を開催して
おります。

ねこまや&ねこ塾

<http://nekomaya.com/>/
<https://www.facebook.com/nekojyuku>

花は、野にあるように!! 利休の言葉を
思いつつ 活けてみました。

八幡山の景観を良くする会(八景会)
<http://hachimanyama.ciao.jp>



《作品配置図》

▲1F PLAN
◀2F PLAN



◆2F 《学術のフロアー》 ⑧

- ・同志社大学『京都竹カフェ』(展示・販売)
- ・竹炭おにぎり(京都竹カフェ 藤井透代表)
- ・竹繊維・竹布ジャケット・竹布のれん・その他
(有限会社ETエイトク・竹繊維研究所・佐川永徳)
- ・京の石鹼なよ竹(里山資源)
- ・介護用使いすてシーツ(堀家昭男)
- ・亀村司竹布作品
(染色、陶、竹の繊維と糸による試作展・アトリエぼざーね代表)
- ・竹焼き塙(母ねこ)
- ・干し竹の子ジャーキーズ(八幡酒蔵工房)

◆1F 表庭側《学びのフロアー》

- ①八幡山の景観を良くする会(八景会)『竹の茶室』『古木と竹の坪庭』『釣り船』他
- ②八幡酒蔵工房 竹編み講師養成講座 作品展示『六つ目籠』(受講生・講師による作品展示)

裏庭側《伝統のフロアー》

- ③東洋竹工株式会社 京の伝統竹工芸作品展示・販売(花器、茶道具、水差し、他、約50点)

《色々な場所》 ねこまや&ねこ塾『花あそび』(苔玉、竹の花器によるフラワーアレンジメント)

《物販コーナー》 ④竹の雑貨／竹工芸品

◆蔵《現代アート》

- ⑤Erehwon／石川雷太+星間光城『竹トロニクス』(映像・竹の音のインスタレーション)
間伐竹を使用したサウンド・インスタレーション『竹トロニクス』を出展。映像、音、建築が一体とな
った未来型のアートです。叩いて音を出してお楽しみください。

◆羅入『アニマ曼荼羅／金剛界』(竹を使用したオブジェ)

- 竹、石、木、植物、などの自然の素材を用い、調和した世界である金剛界曼荼羅を作りました。曼荼
羅の四方には結界を現す塙を配し、世界の守護を祈念しています。

◆庭《竹の造形》

- ⑦庭師だいすけ『景色』(竹の空間インスタレーション、空間美術)
間伐竹を利用して空間を刺激し、より3次元的な意識を高める。

竹編み体験「粽籠」 竹編み体験講師：高木稔

8月18日(火)・22日(土)・23日(日)
受付時間 11:00~15:00 最終日 14:30
体験料 2,500円(材料費・消費税含む)



竹編み体験作品

《竹編み講師養成講座の参加者コメント / 講座風景》

- 伊賀久美子 篠籠は初日手が絆創膏だらけになり泣きそうでしたが、なんとかなりました! 謂めずご指導下さった皆さんに感謝!
- 小関皆乎 58歳59歳と京都伝統工芸専門学校で陶芸を学び60歳で工房開設。八幡山の竹林間伐に参加し、竹工芸に方向転換。専攻を誤ったのが悔やまれる日々です。
- 小西清治 六つ目籠を出展。竹割りだけでも難しい。定年退職後専業農家10年余り、男の居場所講座でボレボレ25に。竹編み講座は、ふと思いつきで入ったが難しい。O型、寂しがりや、不器用(なぜ入ったのか判らん)。おやじ連のイベントにボレボレ25の仲間と参加できるのが嬉しい。
- 小林洋子 銚ひとつで竹を割って材料を作り出す。日本人の緻密な仕事ぶりを改めて考えさせられた竹編み教室でした。
- 武野輝美 近江八幡市在住、48歳。近江八幡市に暮して4年。竹ナタも使った事のない初心者です。竹の割り方、剥ぎ方から始まり六目編みまで初めての経験でしたがとても楽しい作業です。もっと違う編み方や違う種類の籠の作成に意欲を持っております。
- 椿野大輔 大津市在住、59歳、庭師。仕事柄竹を扱うことはよくあるのですが、なた一つで竹がここまでかわる、新たな発見がありました。
- 椿野喜美子 大津市在住、自宅付近に荒廃した竹林があるので、竹を利用して物つくりをしたいと受講。しかし編む前の竹を準備するまでの大変さを痛感しています。果たして不器用な私に竹かが作れるのか?
- 峰山巳之助 琵琶湖の湖北で小原籠を少し習ったが、遠距離と言ふこともあり卒業出来なかった。何事にもダメでもいいからやって見たいのが私の気性。竹編みは竹を切る事、割ることだけでも難しい。それを意圖も簡単にされる先生からコツを盗むのが勉強。竹編みで「光と空間」を考えているが、どうなるか楽しみである。
- 増田由美子 2003年、初孫が産まれ、以来現在5人の孫娘孫達のおもちゃを廃材で手作り。2011年東京おもちゃ美術館のおもちゃインストラクターを取得。家の中は孫達はおうちの遊園地と喜んでいる。近くの幼稚園、職場にも提供して好評。竹編みに出会い、レパートリーを広げたい。

